

萩

ものがたり

萩物語
伝えたい物語が
ここにある。

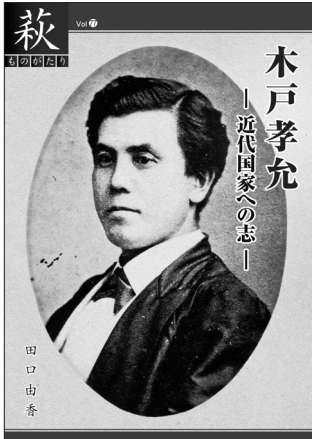
2024年
創刊20周年

2004-2023
萩ものがたり

萩の歴史・文化・自然・風物を
手軽なブックレットに収録。

2023年春新刊

第39回配本



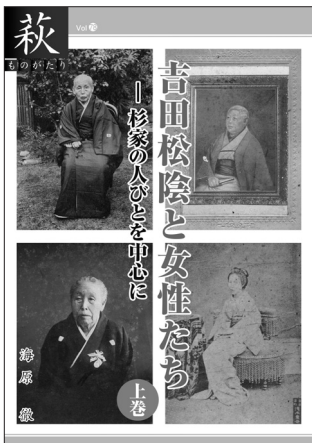
77 木戸孝允 -近代国家への志-

田口 由香 (長崎大学准教授)

A5版 76ページ 定価 770円 (本体700円+税)

木戸孝允は、どのような国家をつくろうとしたのだろうか。19世紀末、欧米諸国のアジア進出によって対外的危機が高まるなか、木戸は、国家の独立を守るため、欧米諸国に対抗できる国家を模索し続けた。木戸は何を考えたのか、行動したのか。おもに木戸の書簡や日記に残された、木戸自身の「言葉」から見えてくる思想と行動を読み解くことで、幕末から明治初期までを通して、木戸の近代国家への志を見たい。

木戸孝允生誕 190年記念出版。



78 吉田松陰と女性たち 上巻 -杉家の人びとを中心に-

海原 徹 (京都大学名誉教授)

A5版 64ページ 定価 660円 (本体600円+税)

吉田松陰の生まれ育った杉家には、いつも大勢の女性たちが賑やかに出入りし、生活を共にしており、松陰の肉体的な成長は、そうした女性たちの存在を抜きにして、そもそもあり得ない。松陰のわずか30年という短い生涯、駆け足で走り抜けたような慌ただしい日々に出会ったさまざまな女性に焦点を合わせ、松陰は彼女たちとどう向き合い、いかに関わったのか。上巻では杉一族の女性たち、三人の妹たちを取り上げる。

<吉田松陰>

⑤松陰先生のことば
—いまに伝わる志—
明倫小学校 (監修) 520円

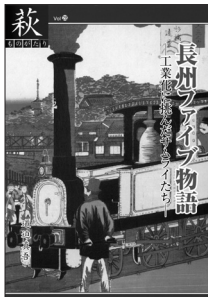


<長州ファイブ渡航160年>

⑥密航留学生
「長州ファイブ」を追って
宮地ゆう 630円



⑧長州ファイブ物語
—工業化に挑んだサムライたち—
道迫真吾 630円



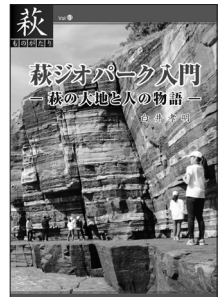
<松林桂月没後60年>

④松林桂月
—近代画家としての意味—
菊屋吉生 630円



<萩ジオパーク認定5周年>

③萩ジオパーク入門
—萩の大地と人の物語—
白井孝明 520円



購入申込み
問い合わせ

一般社団法人 萩ものがたり

〒758-8585 山口県萩市椿東浦田5000 至誠館大学内
TEL 0838・25・3233 (FAX兼) E-mail story@shiseikan.ac.jp
HPアドレス <https://www.shiseikan.ac.jp/hagi-story>

1 萩の椿	吉松 茂 **	27 浪漫陶々	十二代三輪休雪 838	33 名君 毛利敬親	小山良昌 **
2 高杉晋作100問100答	一坂太郎 *	28 長州ファイブ物語	道迫真吾 630	54 萩の世界遺産	道迫真吾 630
3 萩開府	北村知紀 **	29 萩の火山のみみつ	永尾隆志 *	55 渡辺蕃蔵が語る松下村塾	海原 徹 630
4 萩まちじゅう博物館	西山徳明 **	30 萩・北浦のクジラ文化	清水満幸 630	56 吉田松陰肖像画の絵師・松浦松洞	山田 稔 630
5 松陰先生のことば	明倫小学校(監修) 520	31 絵図で見る萩の街道	山田 稔 **	57 明治維新の変革過程	三宅紹宣 733
6 密航留学生「長州ファイブ」を追って	宮地ゆう 630	32 萩の郷土料理・家庭料理	中澤さかな 520	58 井上勝	老川慶喜 733
7 萩と日露戦争	一坂太郎 *	33 日本の近代を拓いた萩の産業人脈	樋口尚樹 **	59 リーダーとしての伊藤博文	伊藤之雄 630
8 萩の巨樹・古木	草野隆司 **	34 吉田稔磨の生涯	一坂太郎 **	60 海外から見た幕末長州藩	田口由香 520
9 吉田松陰と現代	加藤周一 630	35 吉田松陰と旅	海原 徹 630	61 高杉晋作 人とことば	関 厚夫 630
10 萩沖の魚たち(春・夏編)	中澤さかな 堀 成夫 **	36 至誠の人 杉 道助	大野綱之 630	62 山田顕義と萩	松原太郎 630
11 萩の史碑	一坂太郎 *	37 奇兵隊士列伝(一)	一坂太郎 **	63 萩ジオパーク入門	白井孝明 550
12 山田顕義	秋山香乃 **	38 奇兵隊士列伝(二)	一坂太郎 630	64 樋首高く 笠井順八・久原房之助	読売新聞 660
13 井上剣花坊	大庭政雄(監修) **	39 松下村塾	海原 徹 630	65 吉田松陰とその弟子たち・十話上巻	海原 徹 660
14 高島北海	高樹のぶ子 630	40 松林桂月	菊屋吉生 630	66 吉田松陰とその弟子たち・十話下巻	海原 徹 550
15 桂小五郎	一坂太郎 *	41 茶陶萩	石崎泰之 630	67 萩・海のいきもの博物誌	堀 成夫 660
16 萩沖の魚たち(秋・冬編)	中澤さかな 堀 成夫 **	42 高杉晋作と諫早生二	一坂太郎 630	68 須佐に住んだ武士	重田麻紀 660
17 若き日の伊藤博文	一坂太郎 **	43 楢取素彦	道迫真吾 520	69 リーダーとしての山県有朋	伊藤之雄 660
18 宮本常一が見た萩	中澤さかな **	44 久坂玄瑞	一坂太郎 520	70 萩の産業遺産を歩く	道迫真吾 660
19 海を渡った長州砲	郡司 健 **	45 吉田松陰の妹・文(美和)	山本栄一郎 *	71 絵図で見る萩の街道式	山田 稔 660
20 萩往還を歩く	中澤さかな **	46 藩校明倫館	小川國治 520	72 萩の歴史的町並み上巻	大槻洋二 660
21 吉田松陰 人とことば	関 厚夫 520	47 薩長同盟	三宅紹宣 630	73 萩の歴史的町並み下巻	大槻洋二 660
22 晋作の生きた幕末と萩	江坂 彰 *	48 兼常清佐	三好健二 520	74 大村益次郎(上) 幕末編	竹本知行 550
23 維新の精神	松本健一 **	49 ジオパークの開祖・高島北海	金折裕司 520	75 大村益次郎(下) 維新編	竹本知行 660
24 萩の近代化産業遺産	道迫真吾 **	50 吉田松陰 留魂録	三宅紹宣(監修) 520	76 渋沢栄一と萩	関 厚夫 550
25 作家たちの萩上巻	高木正熙 630	51 幕長戦争	三宅紹宣 630	77 木戸孝允	田口由香 770
26 作家たちの萩下巻	高木正熙 630	52 わが夫、高杉晋作	一坂太郎 630	78 吉田松陰と女性たち上巻	海原 徹 660

*520円(税込) **630円(税込) ***733円(税込)
 ★550円(税込) ★★660円(税込) ★★★770円(税込)
 ****838円(税込)

■販売所／萩・明倫学舎・萩博物館・萩市観光協会・明屋書店・道の駅・市内のホテル旅館・萩市役所受付ほか
 ※郵送でのご購入は、萩ものがたり事務局まで電話・FAX・Eメールでお申込みください。代金決済は郵便振替となります。

シリーズ“萩ものがたり”定期購読会員のご案内

年会費2,000円にて、年間4冊(春・秋発行)を定期配本 定価割引の特典があり、確実にお手元に。送料は無料!

配本時期	毎年春と秋に各2冊(年間4冊)配本します。解約指示があるまで、自動的に年間契約は更新。
会費	年間2,000円(送料・消費税込み) 500円×年4冊
会費の支払	ゆうちょ銀行・山口銀行・萩山口信用金庫での会員口座からの自動引き落とし、または郵便振替。

下記の事項をご記入の上、FAX・官製ハガキ・Eメールでお送りください。FAX 0838-25-3233

申込区分	<input type="checkbox"/> 定期購読会員に登録する (開始時期 年 月)	<input type="checkbox"/> 単品購入 (購入タイトル名/冊数: / 冊)
フリガナ氏名	(紹介者氏名)	
郵便番号	〒 -	
住所		
電話/FAX	電話番号	FAX番号
メールアドレス		
会費支払方法	<input checked="" type="checkbox"/> 口座引落 [①ゆうちょ銀行 ②山口銀行 ③萩山口信用金庫] <input checked="" type="checkbox"/> 郵便振替 [④郵便局]	

①～④に○印 ※定期購読会員の場合、手数料は出版元負担